

# 筒井正夫 教授

## 略歴と業績

---

### 略歴

筒井 正夫(つつい まさお)

---

#### 学歴

昭和54年3月 横浜国立大学経済学部卒業  
昭和57年3月 東京都立大学大学院社会科学研究所修士課程修了  
昭和60年3月 一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学  
平成30年3月 博士(経済学)(一橋大学)

---

#### 職歴(教育歴)

昭和60年4月1日 滋賀大学助手(経済学部)  
昭和61年4月1日 滋賀大学講師(経済学部)  
昭和63年4月1日 滋賀大学助教授(経済学部)  
平成11年4月1日 滋賀大学教授(経済学部)  
平成17年4月1日 国立大学法人滋賀大学附属図書館副館長(平成19年3月31日まで)  
平成18年4月1日 国立大学法人滋賀大学経済学部附属史料館長(平成20年3月31日まで)  
平成22年4月1日 国立大学法人滋賀大学経済経営研究所長(平成27年8月31日まで)  
平成21年4月1日 国立大学法人滋賀大学学長補佐(平成22年3月31日まで)  
平成29年4月1日 国立大学法人滋賀大学教授(経済学系)  
令和2年3月31日 定年退職予定

---

### 研究歴

#### (研究分野)

1. 近現代の日本企業経営史、近江商人の経営史分析
2. 近現代日本農村経済史並びに行財政史、同都市経済史・行財政史
3. 日本の文化遺産並びに近代化遺産の研究
4. 思想史・歴史論

---

#### I. 単著

1. 『近江骨董紀行』(新評論／平成19年6月)
2. 『巨大企業と地域社会 富士紡績会社と静岡県小山町』(日本経済評論社／平成28年11月)

※同著にて博士(経済学)(一橋大学)を取得。「企業家研究フォーラム」学会賞受賞

## II. 論文

1. 日露戦後大正期に至る農村行財政の展開—静岡県駿東郡原里村の場合—  
〔御殿場市史研究〕Ⅳ／昭和55年7月
2. 日露戦後大正期に至る農村支配体制の再編—静岡県原里村における  
地方改良運動の展開と帰結—(修士論文／昭和57年3月)
3. 日本帝国主義成立期における農村支配体制—静岡県原里村の事例を中心に—  
〔土地制度史学〕第105号27巻1号／昭和59年10月
4. 日本産業革命期における名望家支配—静岡県御殿場地域の事例にそくして—  
〔歴史学研究〕第538号／昭和60年2月
5. 部落共有金穀の運用と名望家支配—静岡県富士岡村竈地区の事例—(1)  
〔彦根論叢〕第236号／昭和61年1月  
部落共有金穀の運用と名望家支配—静岡県富士岡村竈地区の事例—(2)  
〔彦根論叢〕第237号／昭和61年3月
6. 「政党政治」確立期における地域支配構造—静岡県御殿場地域の事例にそくして—(1)  
〔彦根論叢〕第244号／昭和62年6月  
「政党政治」確立期における地域支配構造—静岡県御殿場地域の事例にそくして—(2)  
〔彦根論叢〕第245号／昭和62年8月  
「政党政治」確立期における地域支配構造—静岡県御殿場地域の事例にそくして—(3)  
〔彦根論叢〕第248号／昭和63年1月  
「政党政治」確立期における地域支配構造—静岡県御殿場地域の事例にそくして—(4)  
〔彦根論叢〕第249号／昭和63年3月
7. 近代日本における名望家支配〔歴史学研究〕第599号／平成元年10月
8. 日清戦後期における行政村の構造〔近代日本の行政村—長野県埴科郡五加村の研究—〕  
大石嘉一郎・西田美昭編著／日本経済評論社／第1章第2節／平成3年2月
9. 成立期における行政村の構造(同上書、第1章第3節／平成3年2月)
10. 農村の変貌と名望家  
〔坂野潤治他編著「シリーズ日本近現代史」第2巻／岩波書店、所収／平成5年2月〕
11. 柳宗悦における「物」と「心」〔彦根論叢〕第302号／平成8年7月
12. 工場の出現と地域社会—産業革命期における富士紡績会社と静岡県小山地域—(1)  
〔彦根論叢〕第305号／平成9年1月  
工場の出現と地域社会—産業革命期における富士紡績会社と静岡県小山地域—(2)  
〔滋賀大学経済学部研究年報〕Vol.5／平成10年12月  
工場の出現と地域社会—産業革命期における富士紡績会社と静岡県小山地域—(3)  
〔彦根論叢〕第316号／平成10年12月  
工場の出現と地域社会—産業革命期における富士紡績会社と静岡県小山地域—(4)  
〔彦根論叢〕第318号／平成11年2月

13. 明治前期農業農村論(中村政則編『近現代日本の新視点—経済史からのアプローチ—』/  
吉川弘文館／平成12年12月)
14. 地域史のなかの近代化遺産(『新しい歴史学のために』No.245号／平成14年2月)
15. 県営彦根製糸場(滋賀民報社編『明治・大正・昭和 近代の滋賀』／平成14年9月)
16. 醒井養鱒場(滋賀民報社編『明治・大正・昭和 近代の滋賀』／平成14年9月)
17. 大正・昭和期の農村改革運動(滋賀民報社編『明治・大正・昭和 近代の滋賀』／平成14年9月)
18. 明治初期城下町をめぐる物資流通—滋賀県彦根町周辺地域を事例として—  
(『市場史研究』22号／平成14年11月)
19. 明治前期における金沢区会の成立と展開(『近代日本都市史研究—地方都市からの再構成—』  
大石嘉一郎・金澤史男編著／第2章第1節／日本経済評論社／平成15年3月)
20. THE LOCAL IMPROVEMENT MOVEMENT FARMERS AND VILLAGE LIFE IN  
TWENTIETH-CENTURY JAPAN' edited by Ann Waswo and Nishida Yoshiaki,  
Routledge Curzon, 2003 (平成15年)
21. 明治前期中山間地帯の経済構造—静岡県駿東郡御殿場・小山地域の事例—  
(『滋賀大学経済学部研究年報』Vol.10／平成15年)
22. 城下町における近代都市の成立—金沢市を事例として—  
(『歴史と経済』第183号46巻3号／平成16年4月)
23. スミス記念堂の保存運動をめぐる市民運動とまちおこし(『彦根論叢』第348号／平成16年5月)
24. 明治初期地方における殖産事業展開の一事例—静岡県駿東郡御殿場・小山の事例—  
(『彦根論叢』第352号／平成17年1月)
25. 明治中後期における近江商人山中兵右衛門本家の投資活動  
(『彦根論叢』第356号／平成18年1月)
26. 大区小区制下の地方行財政—静岡県駿東郡御殿場・小山地方の村々を事例として—  
(『滋賀大学経済学部研究年報』Vol.12／平成17年)
27. 地方改良運動と農民(『20世紀日本の農民と農村』西田美昭、アン・ワズウォー編著、所収/  
東京大学出版会／平成18年1月)
28. ビジュアル資料を活用した自治体史の可能性  
(『新しい歴史学のために』No.271／平成21年1月)
29. 戦時期近江絹糸紡績株式会社における労務管理と社内教育  
(『女性史学』第19号／平成21年8月)
30. 明治期日野における山中家の企業活動と投資(『近江日野商人の研究 山中兵右衛門家の  
経営と事業』／松元宏編著／日本経済評論社／第5章所収／平成22年6月)
31. 富士紡績株式会社設立に至る企業家ネットワークの形成  
(『彦根論叢』No. 384／平成22年6月)
32. 日清戦後、富士紡績会社の経営危機とその克服過程—和田豊治の経営・労務改革(1)—  
(『滋賀大学経済学部年報』第18巻／平成23年11月)

33. 県営彦根製糸場の誕生 ―富岡製糸場との関連を中心に―  
(『彦根論叢』No.389／平成23年9月)
34. 日露戦後、富士紡績会社の労務管理規則―史料紹介を中心に―  
(『滋賀大学経済学部ワーキングペーパー』176号／平成24年11月)
35. 近代日本資本主義の精神としての士魂商才(『士魂商才の精神と士魂商才館』第1部  
／『彦根論叢』No.398／平成25年12月)
36. 社会主義・共産主義的世界観の特質と問題点―剰余価値学説と唯物史観の  
批判的検討(1)(『彦根論叢』No.418／平成30年12月)  
社会主義・共産主義的世界観の特質と問題点―剰余価値学説と唯物史観の  
批判的検討(2)(『彦根論叢』No.419／平成31年2月)  
社会主義・共産主義的世界観の特質と問題点―剰余価値学説と唯物史観の  
批判的検討(3)(『彦根論叢』No.420／平成31年6月)  
社会主義・共産主義的世界観の特質と問題点―剰余価値学説と唯物史観の  
批判的検討(4)(『彦根論叢』No.421／平成31年9月)
37. 産業革命期、紡織大企業の危機への対処法 富士紡績会社の事例  
(『彦根論叢』No.423／令和2年2月)

### Ⅲ. 地域自治体史編纂執筆

1. 『小山町史第4巻近現代資料編Ⅰ』第2章「明治後期・大正期の小山」(平成4年3月)
2. 『小山町史第5巻近現代資料編Ⅱ』第3章「震災復興から昭和恐慌へ」(1節・3節)  
(平成7年10月)  
第4章「戦時期の小山」(1節)(平成7年10月)  
第5章「生活・文化・社会運動・富士山・宗教」(1～4節)(平成7年10月)
3. 『小山町史第8巻近現代通史編』第3章「町村制から日清日露戦争へ」(全章)(平成11年1月)  
第4章「小山の産業革命」(全章)(平成11年1月)  
第6章「大正から昭和へ」(1～4節、6節)(平成11年1月)  
第8章「生活文化の新しい動き」(1節・2節の半分)(平成11年1月)  
第9章「戦時期の小山」(1節・2節・5節)(平成11年1月)
4. 『新修 彦根市史第8巻 史料編 近代一』三経済、四生活・4交通通信(平成15年3月)
5. 『新修 彦根市史第9巻 史料編 近代二・現代』二経済(平成17年2月)
6. 『滋賀県の近代化遺産―滋賀県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書一』  
(滋賀県教育委員会 第二章「滋賀県の近代化」、その他個別建造物調査報告／平成12年3月)
7. 『近江日野の歴史』第四巻近現代編  
第一章「近代の幕開け」第四節「明治の経済」第二項(平成29年7月)  
第二章「明治中後期から大正期にかけての地域の変貌」  
第四節「明治中後期から大正期の経済」第二項(平成29年7月)  
第三章「昭和の開幕から戦時体制へ」第四節「昭和前期の経済」第二項(平成29年7月)

8. 『近江愛知川町の歴史』第四巻 分冊一 ビジュアル資料編、監修・執筆  
第一章「モノが語る生業と暮らし」(平成19年3月)
9. 『近江愛知川町の歴史』第三巻 民俗・文献史料編、近現代分野の監修・執筆  
(平成20年10月)  
第三章近現代 第一節「近代地域社会の形成」  
第四節「郡制と郡役所」
10. 『近江愛知川町の歴史』第二巻 近世・近現代編、近現代編監修・執筆(平成22年3月)  
「近現代概説」  
第一章「愛知川の明治維新」第一節・二節・四節、  
第二章「町村制の施行から日清日露戦争へ」第一・二・四・五節
11. 『東近江市史 能登川の歴史』第三巻 近代・現代編(平成26年7月)  
第一章「明治新政権下の能登川」第三節「麻布業の再編と近江商人」  
第二章「明治後期・大正期の能登川」第三節「産業革命の進展と近江商人の経済・  
社会活動」  
第三章「昭和の開幕」第一節「昭和初期の政治と行財政」

---

#### IV. 史料紹介・エッセー

1. 「須走消防組日誌」(『小山町の歴史』第3号／平成元年3月)
2. 「旧高宮町役場文書」(『滋賀大学経済学部附属史料館研究紀要』第29号／平成元年8月)
3. 「オックスフォードで考えたこと」(エッセー)  
(小山町史編さん専門委員会『小山町の歴史』第5号／1991年)
4. 「歴史発見講座 彦根ゆかりの近代化遺産」テキストI～V (彦根市教育委員会／平成12年)
5. 『日野商人山中兵右衛門家文書目録』Ⅱ解題・4「御殿場地域における山中兵右衛門家の位置」(御殿場図書館・日野商人山中兵右衛門家文書研究会／平成15年3月)
6. 「近江骨董散歩 第1回～第30回」(『DADA Journal』vol.344～vol.374／平成16～19年)

---

#### V. 書評

1. 橋本哲哉著『近代石川県地域の研究』、金沢大学経済学部、昭和61年  
(『土地制度史学』第113号29巻1号／昭和61年10月)
2. 伊藤正直・大門正克・鈴木正幸著『戦間期の日本農村』、世界思想社、昭和63年  
(『日本史研究』第323号／平成元年7月)
3. 石川一三夫著『近代日本の名望家と自治』木鐸社、昭和62年  
(『歴史評論』第475号／平成元年)
4. 大島美津子『明治国家と地域社会』岩波書店、平成6年  
(『歴史学研究』第681号／平成8年2月)

5. 高久嶺之介『近代日本の地域社会と名望家』柏書房、平成9年  
(『滋賀大学経済学部附属史料館研究紀要』第32号／平成11年3月)
6. 丑木幸男著『地方名望家の成長』柏書房、平成12年  
(『歴史評論』第625号／平成14年5月)
7. 中見真理『柳宗悦』東京大学出版会、平成15年  
(『日本歴史』第682号／平成17年3月)
8. 広川禎秀編『近代大阪の地域と社会変動』部落問題研究所、平成21年  
(『社会経済史学』77巻2号／平成23年)
9. 福澤徹三『一九世紀の豪農・名望家と地域社会』思文閣出版、平成24年  
(『歴史と経済』56巻2号／平成26年)

---

## VI. 翻訳

1. 直美・ブラウン「イギリスにおける天皇報道と最近の日英関係」  
(『歴史学研究』第623号／平成3年9月)
2. ケリー・スミス「昭和恐慌と農村経済更生運動—模範村の建設—」  
(『20世紀日本の農民と農村』／東京大学出版会／平成18年1月)